

各部局に残る歴史遺産

キャンパスミュージアムツアー



大阪大学には、部局に残る資料や史料を、独自のミュージアムで展示している学部・研究所があります。今回は豊中キャンパスの理学部、吹田キャンパスの医学部・工学部・微生物病研究所を取材しました。ここでしか見ることのできない貴重な展示品の数々をご紹介します。

キャンパスミュージアムツアー

理学部F棟・H棟

理学部では、いくつかの建物の玄関部分で展示をすることができます。

F棟では、まず建物に入る前に、天井を見上げてみましょう。そこには、天の北極を中心とする北天の星空が広がっています。壮大な宇宙のロマンを感じながら、太陽に対する地球の位置や運動、銀河系の構造について、ぜひ考えをめぐらせてみてください。さらにF棟の中に入っていくと、玄関ロビーでは岩石、鉱物、化石の大型標本が直に手で触れられます。国の登録記念物「マチカネワニ」化石の下顎レプリカもありますので、そっと触ってみてください。これら地球の歴史を今に伝えているものや、地球を構成しているものに触れてみると、その造形の不思議さや自然の息吹を感じることができるでしょう。

H棟の玄関ホールには「フーコーの振り子」が展示されています。振り子の運動をしばらく眺めていると、振動している面がゆっくりと時計まわりに回転しています。このような振り子の動きから、地球が自転していることがわかるのです。



見上げると星空が見える (F棟玄関ロビー)



じっくりと眺めてみたいフーコーの振り子 (H棟玄関ロビー)

豊中キャンパス
理学部 F棟玄関ロビー・H棟玄関ロビー

* F棟玄関ロビー展示について
<http://www.ess.sci.osaka-u.ac.jp/lobby/lobby-top.html>

キャンパスミュージアムツアー

医学部医学史料展示室

銀杏会館の1階にある医学史料展示室では、緒方洪庵の適塾にまでさかのぼる医学部の長い歴史を、時代を追ってわかりやすく紹介しています。展示品は緒方洪庵の「扶氏医戒之略」をはじめ、かつて実際に使われていた手術器具、医学部の発展に寄与した人物の彫像など、大変バラエティに富んでいます。なかでも卒業生ゆかりの品にはユニークなものがたくさんあります。たとえば、20世紀の初めに瀬良好太が「パブロフの犬」の実験で知られるパブロフ教授のもとを訪れ、条件反射の実験に立ち会い、その記念に贈られた《イヌの胃液》を見ることができます。また、医学専門部時代の卒業生として有名な手塚治虫が、1958年に当時の医学部長・市原硬先生を描いた肖像画も展示されています。ここでは、適塾の時代から今にいたるまで医学部で脈々と受け継がれてきた、進取の気風と自由闊達な精神の足跡をたどることができるでしょう。



今も清楚な透明なパブロフの犬の胃液



手塚治虫が描いたかつての医学部長の姿

吹田キャンパス 銀杏会館1F

開館時間：平日 午前9時30分～午後4時30分/入場無料
<http://www.office.med.osaka-u.ac.jp/icho/museum-jp.html>

キャンパスミュージアムツアー

工学部ギャラリー

工学部ギャラリーでは、工学部の歴史と最新の研究成果を紹介しています。歴史展示のコーナーでは、明治から大正、昭和、平成にかけて工学部が歩んできた道のりを、壁一面に設置された年表によってたどっていくことができます。また、最新の研究成果を紹介するコーナーでは、パネル展示とケース展示により、さまざまな分野の研究内容を解説しています。ふだん目にするのできない試作品や研究試料なども見ることができ、広範囲にわたる「工学」の魅力を伝えています。過去と現在を繋ぐこのギャラリーのイチオシは、歴史展示コーナーの年表の真ん中に設置されたモニターです。ここでは、各年代に撮影された貴重な映像や写真を見ることができます。当時の実験風景や、何気ない日常、躍動感あふれる課外活動の様子など、じっくりと鑑賞しながら工学部の歴史に思いを馳せてみてください。



今も昔も楽しそうな学生生活



工学部の歩みをふりかえってみよう

吹田キャンパス
工学研究科 GSE コモンウエスト (U1W) 1階ロビー

開館時間：平日 午前9時～午後5時/入場無料
<http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/outline/gallery.html>

キャンパスミュージアムツアー

微研ミュージアム

2010年に開館した微研ミュージアムは、コンパクトな展示空間ながらも、一つ一つの展示品が非常に個性的なミュージアムです。フィギュアの制作で世界的に有名な海洋堂が、5か月もの制作期間を費やしてつくったリアルティ溢れるウイルス模型や、寄生虫のサンプルコレクションなど、一度見たら忘れることのできない迫力ある展示がここでは見られます。また、近代細菌学の開祖、ロベルト・コッホに、門下生の北里柴三郎らが贈った顕微鏡など、由緒正しい品も目にするすることができます。さらに、ウイルスや毒素の3次元イメージを楽しむことができるデジタル展示のコーナーもありますので、ぜひ立体メガネをかけて、出現するイメージを体感してみましょう。

ミュージアム内は写真撮影自由ですので、あなたらしい一枚をカメラにおさめてみてください。受付では展示品の図版や微研の歴史などをまとめたパンフレットももらうことができます。来館の思い出にぜひお持ち帰りください。



3Dイメージを立体メガネで見よう



忠実に再現されたウイルス

吹田キャンパス 微生物病研究所1F

開館時間：平日 午前9時～午後5時/入場無料
<http://museum.biken.osaka-u.ac.jp/>

今回のミュージアムツアー、楽しんでいただけましたでしょうか？ あなたの部局の資料室情報、他の人にも紹介したいお気に入りの展示品などをご存じでしたら、ぜひ広報課までお知らせください。

